

政策分野/担当部署	具体的な施策	目的	平成30年度 取り組み状況	
ひとの育成	総合政策課 1-1	中学生と高校生の地方創生参画推進事業	志摩市在住の中学生及び高校生を対象に、志摩市の現状や地方創生の必要性を伝えるとともに、彼らの意向を把握して、地域に戻る、地域に誇りを持つ次世代の育成を推進する。	【中学生】大王中学校にて「中学生未来づくり教室」実施（11/1） ゲストティーチャー：榎藤士氏 年度内にもう一校実施に向け、調整 【高校生】高校生アンケートの準備（三重県南部地域活性化局との連携）
	介護・総合相談支援課 1-2	介護予防ボランティアでポイント事業	世代を超えた交流や地域とのつながりがもてる活動を地域支援事業に加えることで、自ら介護予防をしながら健康寿命を延ばす高齢者だけでなく、介護に関して広く関心をもつ市民を育成する。	ボランティア登録者数：301人（9月末現在） 受入事業者数：77事業所（前年度より4事業所増加）（9月末現在） PR等により周知を強化
	観光商工課 1-3	がんばる市民を応援する事業	意欲的に技術や能力を高めようという市民を支援して、市民のパフォーマンスを向上させるとともに、そうした人材のネットワークを構築する。	広報しま・市HP・商工会会報・CATV・ハローワークで周知 資格取得支援事業補助金：3件 47,000円 資格取得奨励金：2件 100,000円
	総合政策課 1-4	地域とのつながりによる県立高校の魅力向上事業	地域と市内の高校（志摩高校及び水産高校）のつながりを強化して、地域を知る機会と地域で活躍する機会を在校生に提供するとともに、地域が高校について知る機会も創出することで、地域の高校の魅力向上させ、卒業しても地域のために何かをしたいと想ってくれる若者を育てる。	両校協議を実施（5/31、6/26、10/12） 各種取り組み（水高：市役所水槽設置、カツオ解体ショー、カツオのマルミタコお披露目、フードグランプリ本選出場し特別審査員賞受賞 志摩高：伊勢えび祭会場で「えびいっパイ」お披露目 等） 第3回県立高校フェスタ（10/20 阿児アリーナ）
	健康推進課 1-5	二十歳からの健康貯蓄事業	健康に対する意識が比較的低い傾向にある20代と30代を対象に、集団健診の機会を提供することで、健康づくりの大切さを認識し、自ら重症化を予防することを心がける健康的な生産年齢世代を育成する。	7月に2日間（7/7、7/9）実施 248人が受診 受診者の7割が30代で、30代のニーズが高い。
	総合政策課 1-6	心豊かな暮らしを育む人材育成事業	志摩の自然や風土に根差した志摩ならではの心豊かな暮らし方を考案し、それらを実現させるとともに、もって持続可能な社会の構築に寄与することを目的とする。	【市民WS】波切地区 ワークショップの開催（地域活性化策の検討） （4/23、5/9、5/28、6/13、7/9、9/19） Everyday OMOSAMA Art の開催（3/24-4/10） 【職員WS】検討したライフデザインを具体化するためのワークショップ （4/23、5/21、7/12） 未来の暮らし方を育む泉の創造シンポジウムin志摩を阿児アリーナで開催（7/21）し、東北大学による講演の他、市民WS・職員WSの成果発表を行った。
	総合政策課 1-7	大学等との連携による人材育成推進事業	志摩市と連携協力協定を締結している大学等と連携し、学びの場として志摩市を活用していただくための環境整備に取り組み、市民との交流をはじめ、大学間や異業種間の連携を進めることで交流人口の拡大を図る。そのなかから導き出される地域課題の解決や地場産業の推進等に繋げていくための取り組みに関する支援を行い、志摩市に貢献できる人材を育成することを目的とする。	各大学との打合せや市内の視察対応などをし、調査・検討した。
ひとの確保	総合政策課 2-1	若者の希望を叶える志摩づくり事業	志摩市の若者と共に若者を確保するための施策を検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若者の希望が叶うまちづくりを推進する。	企画の実施に係るWSを開催 （4/25、5/8、5/15、5/25、6/4、6/13、6/21、7/18、7/31、8/29、9/19） 「らぶ♥ぼら～Love & Volunteer～プロジェクト」 （子どもたちに“地域の素晴らしさ”を伝える要素をプラスした、今までにないスタイルの婚活イベントの開催） 10/14 ともやま公園をメイン会場に実施 フリーペーパー「SHIMA SWITCH」を5月と9月に発行
	総合政策課 2-2	若い女性が暮らしやすい志摩づくり事業	若い女性にとって住みやすい、働きやすい地域にするための施策を女性と共に検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若い女性が暮らしやすいまちづくりを推進する。	提言書及びアンケート結果の内容を踏まえ、取り組みを検討 （6/19、7/4、8/1、8/29、9/19） 市内の女性が志摩での暮らしやすさ、働きやすさをどのように考えているのかのアンケートを集計 11月の講演会の内容検討 9/28先進地視察（鈴鹿市）
	総合政策課 2-3	移住しやすい志摩づくり事業	志摩市に移住した人々と共に志摩市の移住しやすさや移住に伴う苦労についてとりまとめて、その結果を市の施策に反映させて移住しやすいまちづくりを推進するとともに、多様な移住者のつながりを築く。	移住者たちによるWSを実施（7/9） 移住ガイドブックの改訂 移住希望者のための問い合わせフォーム、相談体制構築についての検討・構築 支援者の募集（9/3～9/28） 移住相談会の開催（大阪：1回、東京：1回）
	水産課 2-4	水産業の担い手受け入れ推進事業	志摩市内にある漁業集落に若者を受け入れる雰囲気醸成するとともに、新たに漁業に従事しようとする若者を支援して、各地域における漁業者を増やす。	地域おこし協力隊（的矢地区 カキ養殖）2名体制での活動開始 カキ及び水産物PR活動 地域おこし協力隊連絡会議（6/1、7/2、8/2、9/3）
	総合政策課 2-5	IJU（移住）ターン促進のための奨学金返済補助事業	奨学金を受けて大学等に進学し、卒業した若者の奨学金返済額の一部を補助することで、志摩市への若者の移住、定住を促進する。	要綱に基づき、奨学金の一部を補助 22人 2,440,000円の補助実績
	総合政策課 2-6	若者の集いと出合いの支援事業	志摩市に若者が集まるイベントを支援することで、若者の出合いや地域の魅力を若者が再発見する機会の創出を促す。	4事業 800,000円（各200,000円）の補助金交付決定 （いそへ夏祭り：8/4、浜島の夜店：8/18、しまコン：11/3、TOKOWAKA Biker's MTG：11/17・18） 11月広報で追加募集予定
	都市計画課 2-7	家主と移住者のためのリフォームによる空き家活用等事業	志摩市内の空き家のリノベーションを推進し空き家の活用を図るとともに、リフォームにも助成し移住者を増やす。	【リノベーション】県内分：2件 県外分：1件 【リフォーム】6件の実績あり
	総合政策課 2-8	若者世代の移住促進事業	若者または中学校卒業前の子どもをもつ世帯の移住を促進し、若者世代を中心に社会減を抑制する。	要綱に基づき、若者・子育て世帯に対し、家賃補助 10件 1,340,000円の補助実績（前期分）
	農林課 2-9	農業の担い手受け入れ推進事業	志摩市内で新たに農業に従事する人を増やすとともに、農業を伝える人材を育成することで、農産物の生産量を増やし、持続可能な農業の確立を図ることを目的とする。	地域おこし協力隊の募集（神明・国府地区でのきんこ、いちごの栽培）で1名活動中 新規募集で8月に1名採用
まちの発見	市長公室 3-1	志摩市ホームページの魅力向上事業	志摩市のホームページ運営において、市民や志摩市と交流のある市外の人々の協力を得て、志摩市の魅力を発信するとともに掲載内容の面白さを追求し、志摩市に興味を持ってくれる人を増やす。	広報しまで投稿コーナー「撮っておき志摩」の募集を行った。「クックパッド志摩市公式キッチン」で市のホームページURLを掲載した。
	総合政策課 市長公室 3-2	きらり志摩びと紹介事業	志摩市内外のあらゆる分野で活躍している人やその分野に精通している人を、広く市民に紹介するとともに、活躍する人同士のつながりを豊かにする。	広報：（株）山紀建設・山本俊太氏、英虞湾愛好会・上村勝通氏、三ヶ丸・浜口浩明氏 CATV：ジャパンカラテキッズクラブ
	総合政策課 3-3	地域の資源を活用するためのプラットフォーム創出事業	様々な知識、経験、技術及びアイデアを有する市内の人や団体が連携できる場（プラットフォーム）を創出することで、地域の再発見と地域の資源を生かす市民の協働を促す。	市内関係機関への概要説明と検討依頼 市外企業との相談機会の創出
	農林課 3-4	農産物の生産実態把握事業	市内で生産される農産物について、産品別の生産量と生産額を把握するとともに、販売場所、流通経路等も把握する。	農協、直売所への聞き取り調査検討
	教育総務課（学校給食センター） 3-5	志摩市の食材を活かした食育推進事業	子どもたちが地元食材を使った給食を食べる機会を増やすとともに、志摩の「食」や生産者等との交流を通じて、子どもたちに地域の魅力に気づいてもらう。	志摩産給食の日の実施：あおさ、ひじき、めひびとかつお節、オクラ、あじの干物・船越味噌 生産者交流会：東海小、神明小 お魚レシビの配布

政策分野/担当部署		具体的な施策		目的	平成30年度 取り組み状況
しじみの強化	総合政策課	4-1	ふるさと応援寄附推進事業	「ふるさと納税」の仕組みを活用して、志摩市内の事業者の生産品の販路拡大や志摩市を訪れる機会の創出を行うことで地域経済の活性化を図るとともに、消費者ニーズを踏まえた商品開発やサービスの向上を促す。	返礼品協力事業者に個別で依頼 みえ南部まるごとガイドマップ作成 三重県南部地域13市町による都市圏でのPR活動への参加
	農林課 水産課	4-2	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	都市部や観光客のニーズに応じた生産物の販路を検討し、消費者を意識する生産者を育成することで、生産者の利益を高める販路の拡大を推進して、農林水産業を活性化させる。	民間が営業する未活用魚を活用した飲食店を現地調査 旬の魚介類PR事業としてポスターを製作（伊勢えび、安乗ふぐ）
	農林課	4-3	農業生産者の強化と育成事業	効率的な農作物の栽培を支援することで、農業生産者の安定的な収益確保、就農者の増加、地産地消の推進を図る。また、地域の主要な担い手となる認定農業者等が安定的な営農活動を行うための支援策を講じることで、就農者の確保、耕作放棄地の抑制を図る。	ビニールハウス新設補助 4件 認定農業者等営農継続支援 3件
	観光商工課	4-4	外国人観光客誘致推進事業	伊勢志摩地域としての観光拠点づくりを広く連携で推進するとともに、志摩市内における外国人観光客受け入れ環境の強化を図ることで、外国人観光客の多様化と増加を促し、地域の観光関連産業を成長させる。	外国人観光客おもてなし推進補助金 随時受付 4件 638,000円 の申請あり
	水産課	4-5	未活用資源等を利用した漁業振興事業	生業としての漁業の魅力さをさらに高めるため、地域としての流通頻度の低い、または未活用、低価格となっている水産物（以下、「未活用資源等」という）を利用した資源管理型の漁業の可能性を検討し、試行を通じて漁業を振興する。	未活用資源魚種の選定（トビウオ、アジ、マルソウダ、イワシ、ゴマサバ） ※健康食材活用に向け試作品の作成について連携し実施した。
	観光商工課	4-6	中小企業者等支援事業	志摩市内の中小企業者等による販路拡大や新規需要開拓の促進、また、経営基盤の強化や産業振興に寄与することを目的とする。	商談会等出展事業補助金・小規模事業者利子補給金 広報しま・市HP・商工会会報・CATVにて周知、観光協会周知依頼 商談会等出展事業補助金 2件 50,000円 小規模事業者利子補給金 10月より申請受付
	里海推進室	4-7	御食国食文化展開事業	御食国（みけつくに）としての歴史や食文化を活かして、農林漁業や観光業を活性化するための戦略を構築するとともに、食に関する価値ある地域資源の掘り起こしやその価値を伝えるための学びの機会を創出し、その結果、高付加価値化を図り、産業を活性化させることで、地域の価値ある生業を次世代に継承することを目的とする。	ガイド養成講座（7/24） 夏プログラムの構築・実施（テーマ「海女漁と海藻」）（8/9～11） 夏プログラムの成果の評価
しじみの創出	観光商工課	5-1	志摩市を元気にする創業支援事業	市内の地域資源を活用するなどして、地域の活性化に資する事業を志摩市でおこそうとする者を、資金調達に関わる多様な主体と共に支援することで地域に仕事を創出する。また、クラウドファンディングを利用し、地域の活性化に資する事業を行った場合においても支援を行う。	創業支援補助金 広報しま・市HP・CATV・商工会会報での周知、観光協会周知依頼 事業者公募（6/1～7/27）、選考委員会の開催（6/29、7/30） 選考ヒアリング審査（8/6）、選定事業者 1事業者 クラウドファンディング活用支援補助金 広報しま・市HP・CATV・商工会会報での周知、観光協会周知依頼 問合せ2件
	観光商工課	5-2	鵜方駅周辺の賑わい復活事業	市内で最も乗降者数の多い鵜方駅周辺の空き店舗を活用した創業支援を実施して、駅周辺に賑やかさを取り戻すとともに、駅周辺を周遊する市民と観光客の数を増やして、仕事を創出する。	鵜方駅前の賑わいを取り戻すため、鵜方駅前振興会主催により8/4、8/11に「鵜方駅前ちびっ子祭り」を開催。（来場者数 2日2,000人） 鵜方駅前利用者アンケート実施 52名（鵜方駅前ちびっ子祭り時に実施）
	総合政策課 観光商工課	5-3	志摩市におけるガイド業の創出事業	ガイド業という事業に対する関係者の理解を深め、志摩市の多様な自然や文化、地域ごとの街並みや暮らしなどを題材にした有償のツアーを実施する機会を設けて、ガイド業という事業の創出を促すとともに、観光ガイドアプリ等を活用してガイド業に携わる人と志摩市を訪れる観光客等をつなぐ仕組みを構築する。	昨年度創業した「遊ばんせ」の現状確認（7/31） 今年度事業の内容検討
	観光商工課	5-4	高齢者と障がい者とその家族等のための観光サービス創出事業	健康面に不安を抱えている高齢者や障がい者とその家族等が、安心して観光できるサービスを、異業種間の連携を促すことを通じて、地域に構築する。	バリアフリー講習会（7/2） 改修予定施設現地確認（7/24、8/21、22、29、30で6件実施） 補助金交付審査会（9/26）
	農林課 水産課	5-5	6次産業化推進事業	生産者による生産量の増加、加工業者による商品開発及び販売業者による多様な販路の構築を支援することで、志摩市の農林水産物を活用した6次産業化を推進する。	きんこ塾の開催（隼人芋の生産、講義等）（5/24、5/29、6/4、6/7、6/21、8/10、8/31） アカモクの需要量調査・漁協との協議
まちの形成	環境課	6-1	伊勢志摩国立公園の魅力向上事業	企業や市民団体等との連携のもと、伊勢志摩国立公園における美化運動、景観形成、自然公園施設の維持管理等を実施し、市民の環境意識の向上を図り、国立公園に暮らすという市民意識を高めるとともに、訪れる人も気持ちよく楽しめる環境のまちづくりを進める。	コスモアースコンシャスアクト クリーンキャンペーン 9/30に開催の予定をしていたが、台風24号により10/28に延期 開催場所：国府の浜ビーチ一帯 参加費無料、事前申込必要
	総合政策課 観光商工課	6-2	賢島の魅力発信力向上事業	賢島に関わる事業者の連携と創意工夫を促し、観光客のニーズと地域の特性を踏まえながら志摩市全体の魅力を発信する拠点としての賢島の役割の強化を図る。	企画展示「山崎豊子先生の愛した賢島」 8/29～9/17に近鉄賢島駅2階カフェサミエールで一般社団法人山崎豊子著作権管理法人、株式会社近鉄・都ホテルズ（賢島観光ホテル）、株式会社近鉄リテリング（カフェサミエール）の協力を得て開催
	観光商工課	6-3	地域の特色を生かしたスポーツのまちづくり事業	市内各地域において、各地域の特色を生かせるスポーツの振興を通じて、市民と観光客の双方がスポーツを楽しめるまちづくりを推進する。	スポーツ観光推進事業補助制度を運用 各種スポーツイベントに助成 4/15志摩ロードパーティーフットボール、5/26・27伊勢志摩ツーデーウォーク、7/14・15志摩里海SUP FESTIVAL、9/8・9伊勢志摩ビーチラグビーフェスタ、9/9志摩里海マリンフェスタ、10/13・14WSL伊勢志摩プロジェクト・フロタクトネイチャー事業、10/20・21志摩ビーチサッカーFESTA、12/1・2伊勢志摩サイクリングフェスティバル
	観光商工課	6-4	地域の魅力を見つけて生かす観光まちづくり事業	自然景観、歴史文化、街並み、日々の暮らし、人のつながり、地元ならではの食、古くからの生業など日常的な物事や当たり前のことを地域の観光資源として生かせる地域づくりを推進する。	志摩町和具地区にてWSを開催予定
	地域福祉課	6-5	生活拠点づくり事業	少子化と高齢化が進行する市内各地区において、住民と共に地区の現状やニーズを把握し、地区の課題を住民が主体となって解決できる仕組みを検討し、その実施の具体化を支援する。	事業委託先：志摩市社会福祉協議会 志摩町間崎地区と志摩町和具地区の2拠点で実施 和具では、空き家（空き店舗）を活用した拠点「つばさ」を設置した。 間崎では、9月に全世帯を対象に生活アンケート調査を実施した。
	総合政策課	6-6	これからの志摩市の地域交通検討事業	人口減少、高齢化率の上昇、外国人観光客等の増加など今後想定される志摩市の社会状況下において、市内各地域と駅、病院、学校、商業施設、観光スポットなどの拠点を結び有効な地域交通のあり方を描く。	地域公共交通網形成計画策定に向けて計画書を策定中。 市内全地区で、住民懇談会を実施した。（7月～10月）
	保険年金課	6-7	子どもの医療費がかからないまちづくり事業	0歳児から中学生までの入院及び通院にかかる医療費を無償化することで、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。	9月から未就学児（0歳から6歳到達年度末）を対象に、一定条件に該当する場合窓口負担をなくす、現物支給方式に変更した。
	総合政策課	6-8	市民や民間事業者による地域をおこすまちづくり支援事業	地域の特性を生かした地域振興に資する市民や民間事業者が主体となったまちづくり事業を推進することを目的とする。	昨年度採択の事業については、5月にクラウドファンディングでの資金調達を完了し、6月に事業実施、7月に事業を完了した。 新規の募集については、広報しま（5月号・9月号）・市HPで周知し、9月に2件の問い合わせを受けた。